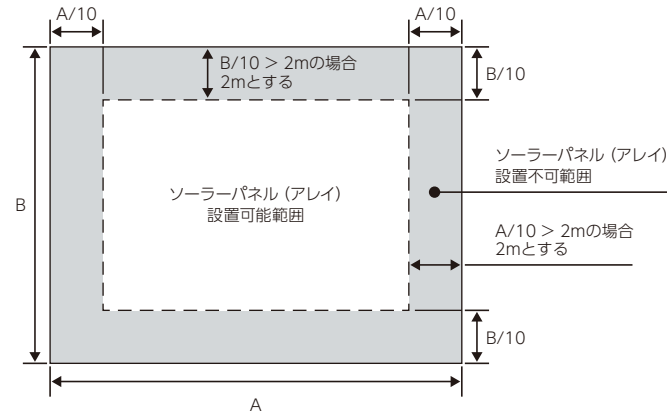


工法別共通事項 重ね式屋根自在ラック

屋根設置について (ソーラーパネル設置可能範囲)

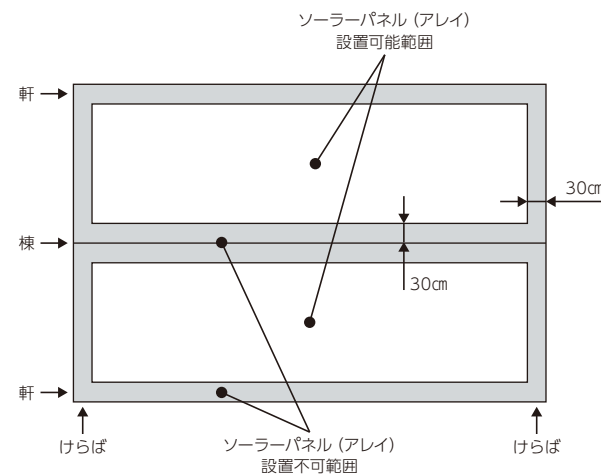
設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配) : 0° 以上 10° 未満



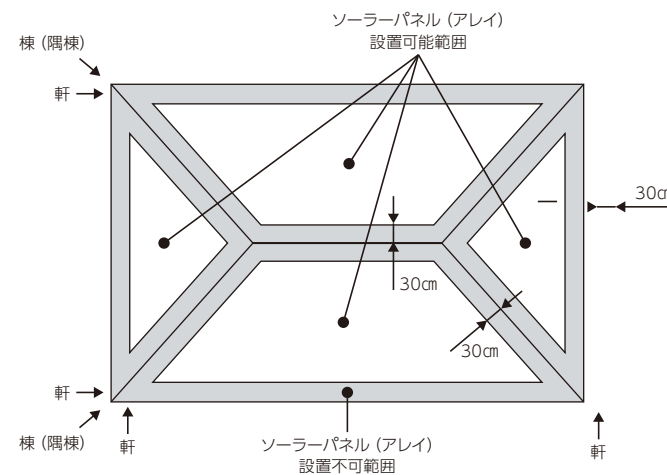
①アレイ (ソーラーパネルおよび金具・架台) を上記の設置対象屋根 (建物) の屋根周辺部 (外周のこと。屋根端部からそれぞれ辺長の10%以内の範囲とする。ただし、辺長の10%が2mを超える場合は2mとする。) へ陸屋根設置で設置する場合は、JIS C8955:2017の適用外です。

設置 (傾斜) 角度 (屋根勾配) : 10° 以上 40° 以下

■切妻屋根



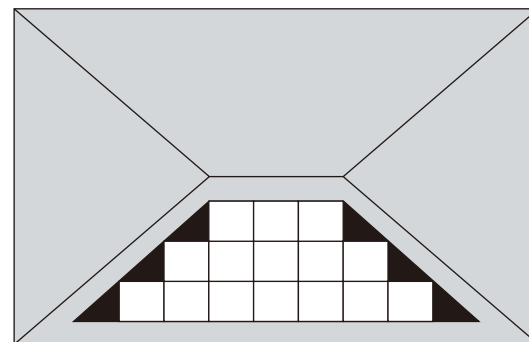
■寄棟屋根



①上記の設置 (傾斜) 角度内で、アレイ (ソーラーパネルおよび金具・架台) を、上記の設置対象屋根 (建物) の屋根周辺部 (軒・げらばおよび棟から30cm以内の範囲) へ屋根置き形 (勾配屋根設置) で設置する場合は、JIS C 8955:2017の適用範囲外です。

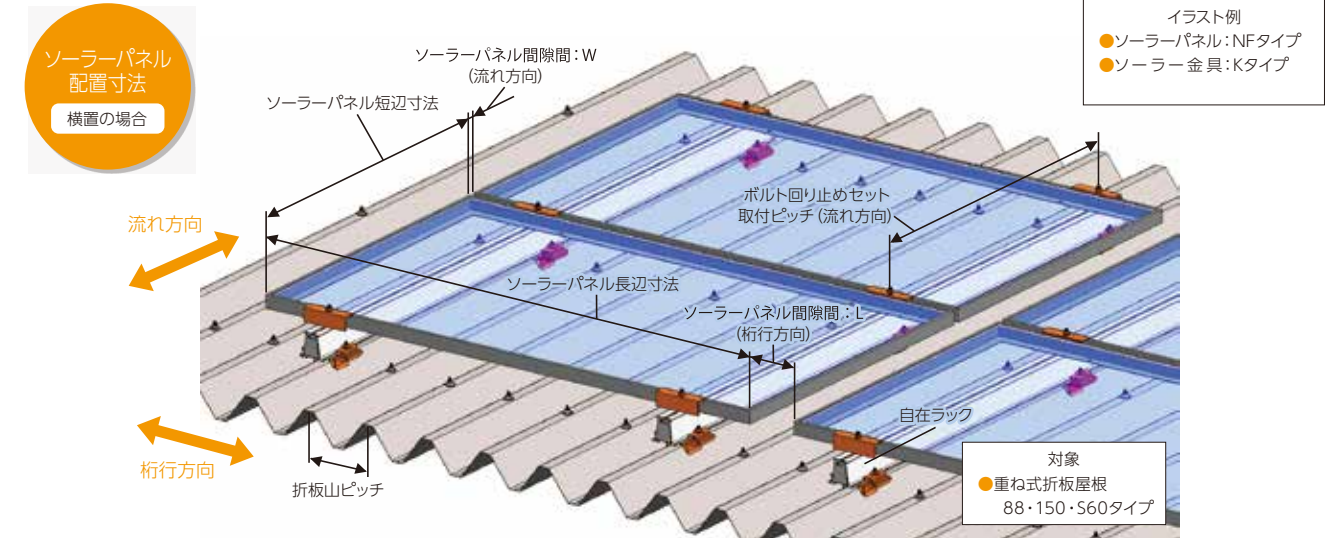
②以下のような寄棟屋根へのソーラーパネルの設置の場合は、この設置条件の対象外です。別途、お問い合わせください。
・屋根表面とソーラーパネル下面との最大距離dがd>50mmとなる寄棟屋根の端部ソーラーパネルを設置する場合

■：端部モジュール 寄棟屋根の端部ソーラーパネル



各部取合い寸法

重ね式屋根自在ラック



※ソーラーパネルメーカー様にて隙間の指定がある場合は、その指定に準拠してください。

ソーラーパネル間隙間 (桁行方向) : L

左右対称配置の場合 桁行方向 (最小寸法) : $L = \{ \text{折板山ピッチ} \times (\text{ソーラーパネル長辺寸法} \div \text{折板山ピッチ}) \} - \text{ソーラーパネル長辺寸法}$
↓
小数点以下切り上げて整数にする

偏心配置の場合 隙間は、屋根・建物・ソーラーパネルの強度・耐久性を考慮し、ソーラーパネルメーカー様の設置 (配置) 仕様 (条件) に準拠した上で、お客様にて決定してください。

※最小寸法が5mm未満の場合は、折板山ピッチを加算してください。

ボルト回り止めセット取付ピッチ (流れ方向)

流れ方向 = ソーラーパネル短辺寸法 + W (ソーラーパネル間隙間 (流れ方向))*

※WはNFタイプ25mm、SYタイプ24mm。

自在ラック取付位置 (桁行方向)

桁行方向: ソーラーパネルの取付穴付近に配置してください。

※ソーラーパネルメーカー様にて固定点数および固定位置の指定がある場合は、その指定に準拠してください。

設置条件について

- ①ソーラーパネル固定方法: ソーラーパネルフレーム押さえ固定 4、6 又は 8 箇所留以上 (ソーラーパネル1台あたり)
- ②屋根なり設置 (屋根置き形): アレイ面 (屋根面) = 屋根勾配 = 設置 (傾斜) 角度
- ③ソーラーパネル1長辺あたり4点固定以上は、ソーラーパネル長辺寸法と桁行方向の金具取付ピッチを考慮し、ソーラーパネルメーカー様の設置 (配置) 基準 (条件・仕様) に準拠した上で、ソーラーパネル間隙間やソーラーパネルへの金具の固定位置を考慮し、お客様にて調整・決定してください。
- ④剣先ボルトに関して
 - I. タイプフレームに剣先ボルトがあり、剣先ボルトに著しい腐食・錆がなく、ネジ山に損傷がないこと。塗装されていないこと。
 - II. タイプフレームの座金付ナットが容易に外せること (座金付ナットが共回りしないこと)。
 - III. タイプフレームの剣先ボルトの径 (インチ又はミリ)、材質・表面処理 (めっき又はステン) ⇒詳細は P32
 - IV. 剣先ボルトの出寸法 (有効ネジ部) . . . ソーラー金具取付時、六角ナット (ダブルナット) の有効ネジが剣先ボルトに全て入っていること。
(必要な出寸法 88タイプ: 10 ~ 15mm、150・S60タイプ: 10 ~ 20mm) ⇒詳細は P32
※その他の設置条件についてはソーラーパネル寸法・梁間ごとの設置条件を参照してください。